

【各務原市】 校務DX計画

各務原市では、県統合型校務支援システム、家庭と学校を繋ぐデジタル連絡ツール、クラウド型のグループウェアツール等を導入し、校務の効率化・ペーパーレス化を図る環境の整備を行いました。また、市内全小中学校へ専門的な知識を有するICT支援員を配置し、整備した環境を十分に活用して校務DX化が進められるよう取り組んできました。

今後は、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、次のことに取り組み、さらなる校務DXの推進を図っていきます。

（１） 連絡のデジタル化

① 教職員と保護者間

学校から保護者へのお便りや配布物の配布や、保護者から学校への提出資料の受付のクラウドサービスを用いたデジタル化を推進します。学校へ連絡ツールやクラウドサービスの活用方法の周知徹底を図り、従来の児童生徒経由での連絡を削減します。

② 教職員と児童生徒間

クラウドサービスを用いた各種連絡やデジタルドリル教材を用いた宿題など、さらに推進していく必要があります。今後、デジタルドリル教材の新機能の活用など検討していきます。

③ 学校内

校務用PCを更改し、ネットワークの無線化、処理能力の向上、電子文書の一元管理ソフトの導入等により、会議資料等の共有文書のペーパーレス化を推進します。また、行事日程、特別教室の利用予約、各職員のスケジュール等の共有についてクラウドサービスの活用方法を周知徹底し、さらなる業務の効率化を図っていきます。

（２） FAX・押印の原則廃止

日常業務でのFAX使用や業務上の書類への押印について見直し、例外的に必要と考えられる業務を除き、令和7年度末までの原則廃止に向けて働きかけます。

（３） 統合型校務支援システムの運用

① 不必要な手入力作業の一掃

教育委員会から学校へ新入学児童生徒の名簿情報を校務支援システム上で提供し、不必要な手入力作業を不要にします。教務系、保健系、学籍系、学校事務系の保存先を一元化し、働き方改革と業務の効率化につなげます。

② 次世代型校務支援システムの導入

校務システムのクラウド化等、国の示した方向性を踏まえ、校務支援システムの更新時期に合わせた再構築に取り組んでいきます。

（４） 教育情報セキュリティポリシーの整備

クラウドサービス等を前提とした教育情報セキュリティポリシーを整備していきます。